2025年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年２月６日

上場会社名　株式会社大戸屋ホールディングス　上場取引所　東
コード番号　2705　URL　https://www.ootoya.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）蔵人　賢樹
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営管理本部長　（氏名）橋澤　順　(TEL)045(577)0357

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2025年３月期第３四半期の連結業績（2024年４月１日～2024年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期第３四半期	23,229	12.5	1,307	14.7	1,377	17.0	958	3.1
2024年３月期第３四半期	20,646	18.0	1,140	－	1,176	3,767.5	929	1,618.3

（注）包括利益　2025年３月期第３四半期　1,024百万円（2.9%）　2024年３月期第３四半期　995百万円（400.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年３月期第３四半期	126.74	－
2024年３月期第３四半期	117.38	－

（注）前第３四半期連結累計期間及び当第３四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年３月期第３四半期	10,289	4,349	40.2
2024年３月期	10,849	4,949	44.1

（参考）自己資本　2025年３月期第３四半期　4,136百万円　2024年３月期　4,782百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年３月期	－	0.00	－	5.00	5.00
2025年３月期	－	0.00	－		
2025年３月期（予想）				5.00	5.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

２．上記「配当の状況」は普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

３．2025年３月期の連結業績予想（2024年４月１日～2025年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,076	4.2	1,675	1.8	1,708	0.5	1,323	△5.7	168.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　－社　（社名）　　、除外　1社　（社名）VIETNAM OOTOYA CO.,LTD.

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年３月期３Ｑ	7,257,300株	2024年３月期	7,251,800株
②　期末自己株式数	2025年３月期３Ｑ	4,919株	2024年３月期	4,919株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2025年３月期３Ｑ	7,249,841株	2024年３月期３Ｑ	7,244,536株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、当第３四半期決算短信に添付される要約四半期財務諸表等に対して任意で公認会計士又は監査法人のレビューを受けており、レビュー完了後の2025年２月14日にレビュー報告書を添付した当第３四半期決算短信の開示を行う予定であります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳および配当金総額は以下のとおりです。

第一回優先株式

	１株当たり配当金					配当金総額（合計）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	年間	
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2024年３月期	―	0.00	―	3,500,000.00	3,500,000.00	105,000,000.00
2025年３月期	―	0.00	―			
2025年３月期(予想)				3,500,000.00	3,500,000.00	52,500,000.00

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（四半期連結財務諸表の作成方法について） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費者マインドの改善に足踏みがみられるものの、訪日外国人数の増加によるインバウンド消費の拡大などを背景に緩やかな回復傾向となっております。一方で、地政学的リスクによる原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇などにより、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

外食産業におきましても、人流の回復により外食需要は堅調に推移しておりますが、継続的な物価高騰や人件費の上昇に加え、慢性的な採用難の影響により依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、コロワイドグループとの仕入共同化及び商材の最適化により仕入コスト削減に取り組みながら、各店舗では食材の適切な在庫管理を徹底いたしました。また店舗の売上状況に応じた人員配置やモバイルオーダー、セルフレジなどで注文や会計時の一部を効率化し運営体制を構築いたしました。

売上高増による利益体質の強化として、テイクアウト販売の利便性の向上や大戸屋デリバリーの稼働率上昇を行い中食事業の拡大に取り組みました。さらには、季節の美味しさを堪能できる季節限定メニューの開発、従来のアプリポイント交換クーポンに加え大戸屋マンスリークーポンの配信、メディア露出の強化として首都圏でのトレインビジョンや柱サイネージの広告出稿など、来店促進に取り組んでまいりました。また多様なシーンでご利用いただけるように１都３県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）を中心に数十店舗で開店時間の繰り上げを実施しました。

サステナビリティの重点課題の一つである「地域・社会への貢献」に係る取り組みで、親子で楽しく学べる「食育プロジェクト」として、お子様が楽しみながら「食」について学べるよう、お子様メニューのおもちゃをペーパークラフトに切り替えました。また、「働く仲間の成長と多様性の尊重」に係る取り組みとして、社内外の研修などを通じて女性や外国人スタッフが活躍できる人材育成に取り組んでおります。

この結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高232億29百万円（前年同期比12.5％増）、営業利益13億７百万円（前年同期比14.7％増）、経常利益13億77百万円（前年同期比17.0％増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益９億58百万円（前年同期比3.1％増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業においては、秋季限定メニュー「大戸屋にっぽんの食堂」フェアの開催や大戸屋名物「生さんまの炭火焼き定食」、大戸屋初の「洋食」をテーマにした冬限定フェア、冬の定番メニュー「大粒牡蠣フライ定食」の販売を行いました。また大戸屋福袋「まんぷく袋」の３万袋販売、メディア露出の強化等をした結果、売上高・セグメント利益ともに前年同期より改善することとなりました。

店舗展開につきましては、「大戸屋ごはん処」２店舗の新規出店及び２店舗の閉店、業態転換を２店舗（「大戸屋ごはん処」から「ASIAN CAFE 蓮屋珈琲店」、「蕎麦処大戸屋」から「大戸屋ごはん処」）行いました。また国内直営事業でありました「大戸屋ごはん処」３店舗を国内フランチャイズ事業としました。

これにより、当第３四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」140店舗、その他６店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は141億51百万円（前年同期比16.5％増）、セグメント利益は５億34百万円（前年同期比14.3％増）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業においても、国内直営事業同様に期間限定フェアや季節限定メニューの販売、広告宣伝及び販売促進活動を実施した結果、売上高は前年同期より改善することとなりました。

店舗展開につきましては、「大戸屋ごはん処」２店舗の新規出店及び２店舗の閉店を行いました。また国内直営事業でありました「大戸屋ごはん処」３店舗を国内フランチャイズ事業としました。

これにより、当第３四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」162店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は62億円（前年同期比7.4％増）、セグメント利益は12億９百万円(前年同期比3.0％減）となりました。

③　海外直営事業

海外直営事業においては、香港と米国ニューヨーク州では外販活動やセレクトメニュー・セットメニューの販売、各国ごとに季節限定メニューの販売などで売上拡大に取り組んでおります。

当第３四半期連結会計期間末における海外直営事業に係る稼働店舗数として９店舗（香港大戸屋有限公司が香港において４店舗、AMERICA OOTOYA INC.が米国ニューヨーク州において４店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.がタイ王国において１店舗）を展開しております。

以上の結果、海外直営事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は22億90百万円(前年同期比1.9％増）、セグメント損失は30百万円（前年同期は１億19百万円の損失）となりました。

④　海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業においては、新商品の開発、季節限定メニューなど地域ごとに販売促進活動を行ったことから売上高は前年同期より改善することとなりました。

当第３四半期連結会計期間末における海外フランチャイズ事業に係る稼働店舗数とし113店舗（タイ王国において55店舗、台湾において48店舗、インドネシア共和国において９店舗、マレーシアにおいて１店舗）を展開しております。

以上の結果、海外フランチャイズ事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は１億98百万円（前年同期比12.6％増）、セグメント利益は48百万円（前年同期比14.0％減)となりました。

⑤　その他

その他は、タイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業であり、当第３四半期連結会計期間末現在、THREE FOREST (THAILAND) CO.,LTD.がプライベートブランド商品の輸入・販売をタイ王国で行っております。

その他の当第３四半期連結累計期間の売上高３億88百万円（前年同期比29.2％増)、セグメント利益は75百万円（前年同期比65.1％増）となりました。

（２）財政状態に関する状況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金29億88百万円を主なものとして49億90百万円（前連結会計年度末比21.0％減）、固定資産は、店舗等の有形固定資産24億81百万円と敷金及び保証金17億８百万円を主なものとして52億98百万円（同16.9％増）であり、資産合計では102億89百万円（同5.2％減）となりました。これは主に、有形固定資産が７億99百万円増加、現金及び預金が15億50百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の流動負債は、買掛金13億59百万円、１年内返済予定の長期借入金４億円及び未払金13億14百万円を主なものとして42億62百万円（前連結会計年度末比8.8％増）、固定負債は、長期借入金３億円、資産除去債務８億16百万円を主なものとして16億77百万円（同15.3％減）であり、負債合計では59億40百万円（同0.7％増）となりました。これは主に、長期借入金が３億円減少したものの買掛金が３億24百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、43億49百万円（前連結会計年度末比12.1％減）となり、自己資本比率は40.2％となりました。これは主に、第１回優先株式の取得及び自己株式の消却等により資本金９億85百万円と資本剰余金４億98百万円が減少したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年３月期の連結業績予想につきましては、2024年５月９日に発表いたしました数値のとおりです。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,539	2,988
売掛金	1,126	1,237
原材料及び貯蔵品	88	109
その他	587	677
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	6,318	4,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,175	1,199
工具、器具及び備品（純額）	383	1,086
その他（純額）	123	195
有形固定資産合計	1,681	2,481
無形固定資産	117	121
投資その他の資産		
繰延税金資産	971	909
敷金及び保証金	1,707	1,708
その他	68	93
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,731	2,695
固定資産合計	4,531	5,298
資産合計	10,849	10,289

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,034	1,359
１年内返済予定の長期借入金	400	400
資産除去債務	32	6
未払金	1,271	1,314
未払法人税等	213	111
契約負債	36	192
賞与引当金	80	77
販売促進引当金	73	108
店舗閉鎖損失引当金	40	－
子会社整理損失引当金	1	1
その他	734	691
流動負債合計	3,919	4,262
固定負債		
長期借入金	600	300
契約負債	81	77
資産除去債務	803	816
その他	496	483
固定負債合計	1,981	1,677
負債合計	5,900	5,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,029	2,044
資本剰余金	2,805	2,307
利益剰余金	△1,220	△403
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,615	3,948
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	167	188
その他の包括利益累計額合計	167	188
非支配株主持分	166	212
純資産合計	4,949	4,349
負債純資産合計	10,849	10,289

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）
売上高	20,646	23,229
売上原価	8,435	9,506
売上総利益	12,211	13,722
販売費及び一般管理費	11,071	12,415
営業利益	1,140	1,307
営業外収益		
受取利息	2	6
為替差益	32	10
店舗売却益	－	45
その他	24	22
営業外収益合計	60	85
営業外費用		
支払利息	17	12
その他	5	2
営業外費用合計	23	15
経常利益	1,176	1,377
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	－	2
固定資産除却損	6	37
減損損失	1	－
店舗閉鎖損失	2	1
店舗閉鎖損失引当金繰入額	24	－
子会社整理損	－	6
為替換算調整勘定取崩損	－	7
解約違約金	－	31
その他	6	－
特別損失合計	40	86
税金等調整前四半期純利益	1,136	1,290
法人税等	184	299
四半期純利益	951	991
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	929	958

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）
四半期純利益	951	991
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	44	33
その他の包括利益合計	44	33
四半期包括利益	995	1,024
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	965	979
非支配株主に係る四半期包括利益	30	45

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成方法について）

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第４条第１項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第４条第２項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

資本政策の柔軟性・機動性の確保を図るため、2024年６月20日開催の第41回定時株主総会の決議に基づき、2024年６月20日付で減資の効力が発生し、資本金1,000百万円及び資本準備金1,000百万円が減少し、その他資本剰余金が2,000百万円増加いたしました。

また2024年６月28日付で第１回優先株式15株を買い受け、2024年６月28日開催の取締役会決議に基づき、同日に自己株式15株の消却を実施いたしました。自己株式数及び金額は、前連結会計年度末に比べ変動しておりませんがその他資本剰余金は1,512百万円減少しました。

さらに2024年７月９日開催の取締役会決議に基づき、８月６日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行により、資本金14百万円及び資本準備金14百万円増加いたしました。

この結果、当第３四半期連結会計期間末において資本金が2,044百万円、資本剰余金が2,307百万円となっております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）
減価償却費	245百万円	368百万円

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2023年４月１日　至　2023年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	12,149	5,773	2,246	176	20,346	300	20,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	12,149	5,773	2,246	176	20,346	300	20,646
セグメント利益又は損失（△）	467	1,247	△119	55	1,651	45	1,697

（注）　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,651
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	15
全社費用（注）	△572
四半期連結損益計算書の営業利益	1,140

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他(注)	合計
	国内直営事業	国内フランチャイズ事業	海外直営事業	海外フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	14,151	6,200	2,290	198	22,840	388	23,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	0	0
計	14,151	6,200	2,290	198	22,840	388	23,229
セグメント利益又は損失（△）	534	1,209	△30	48	1,761	75	1,836

（注）　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,761
「その他」の区分の利益	75
セグメント間取引消去	19
全社費用（注）	△548
四半期連結損益計算書の営業利益	1,307

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。